

【WEB 公開にあたり】

製品を御購入頂いたお客様には、以下の 2 枚の CDROM が添付されますが、OAKS32 Release 4 の CDROM は公開していません内容は 1. の項を参照してください。

御希望の方は OAKS32 ボードを購入する必要があります。URL は <http://www.oaks-ele.com/> 開発環境ソフトウェアは、ルネサステクノロジーの WEB より無償評価版を入手することも可能です。ソフトウェアは、OSEK を使用したものと非 OS の 2 種類があります。

このソフトウェアの OSEK OS は、**TOPPERS** プロジェクトで公開している OS です。

1. OAKS32 Release 4

この CDROM は、ルネサステクノロジー社 M32C を使用した OAKS32 ボード（自動車教材ハードウェアに使用している子基板）のドキュメントと、M32C ソフトウェアを開発するときに必要な、ソフトウェア開発環境が入っております。

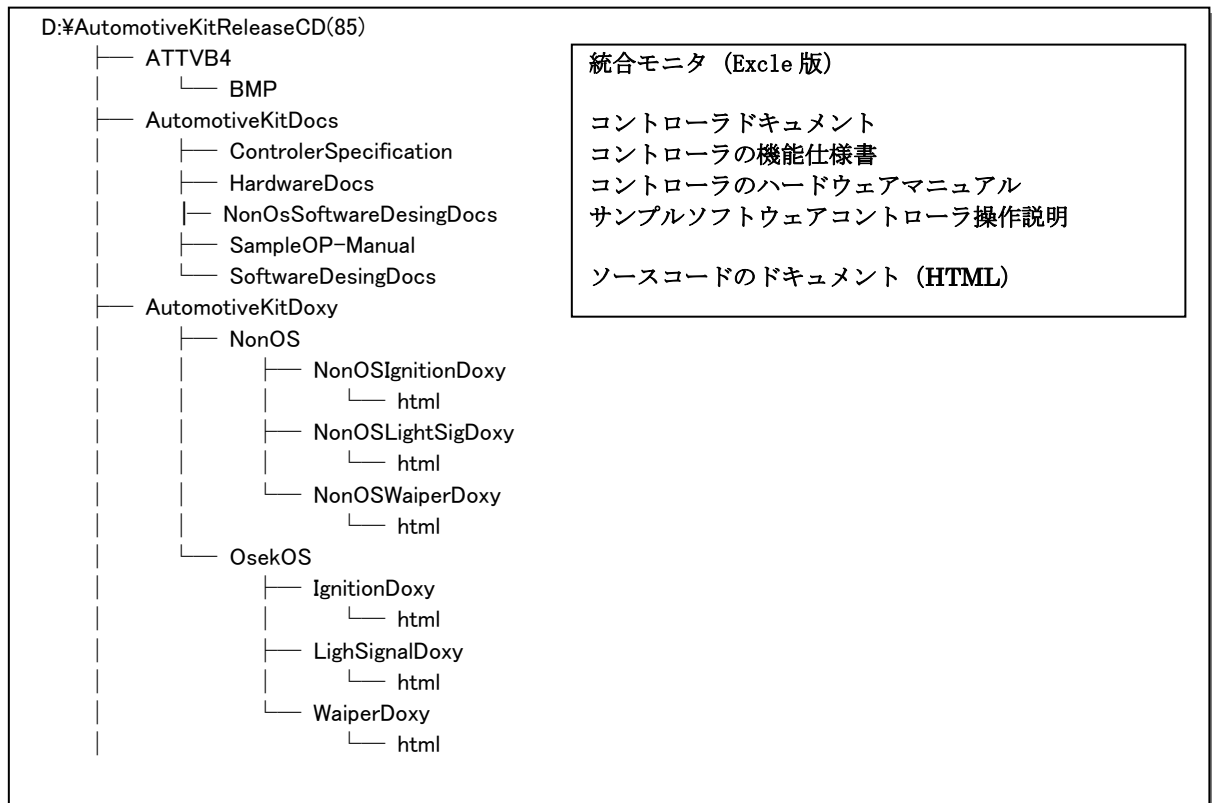
ソフトウェア開発に際しては、まずこの CDROM より開発にご使用になる PC へ開発環境をインストールして頂きます。インストールの手順等は、CDROM 内のマニュアルを参照してください。

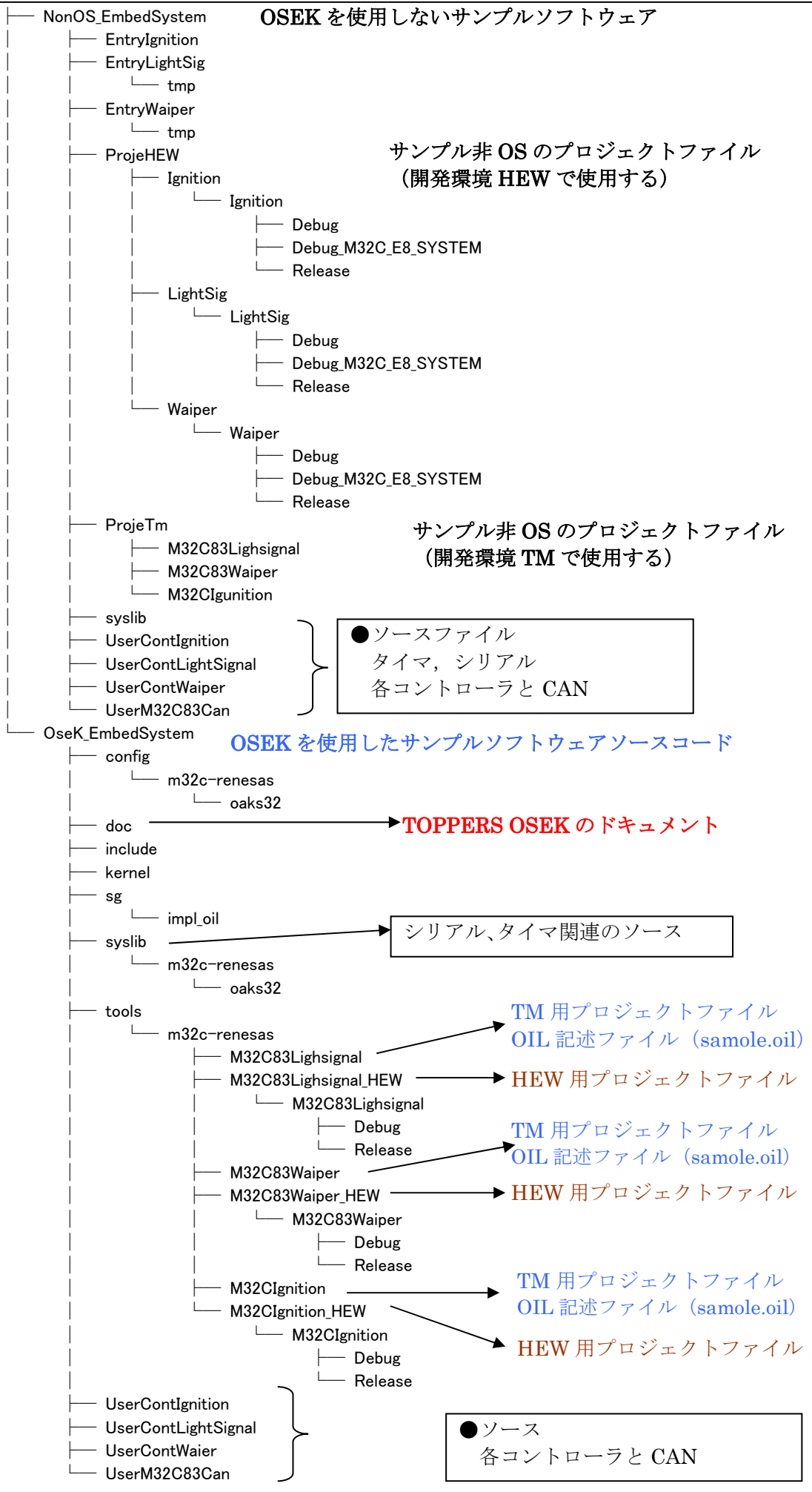
2. 自動車教育機材

自動車教育機材 CDROM には、各コントローラのソフトウェアドキュメント、ハードウェアドキュメントとソースプログラムが入っております。

ソースプログラムの内容は、TOPPERS OSEK を使用した、各コントローラサンプル制御ソフトウェアと、OSEK を使用しない、非 OS の各コントローラサンプル制御ソフトウェアの全てのソースコードが入っております。

サンプルアプリケーション CDROM のツリー構成とツリーの内容を説明致します。





HEW 用プロジェクトファイルには、別途 HEW 用の開発環境が必要となります。
M32C83 は、E8 デバッグツールはサポートしておりませんので、CPU 交換が必要となります。
E8 デバッグツールをご希望の方は、お問い合わせ下さい別途対応致します。

3. CPU を M32C85 に交換されている場合の注意事項

M32C85 の CPU をお使いの場合には、次のファイルの内容をご確認下さい。

自動車教育機材 CDROM ドキュメントで、M32C83 と記述されているところは M32C85 と読み替えて下さい。

同様に RCROM 内のホルダ名も M32C83 名がありますがご使用上問題ありません。

3.1. ソースファイルの注意事項

次のファイルをご確認下さい。

```
└─ UserContLightSignal
    LightSignalIF.h ファイル

    #define M32C85      85
    #define M32C83      83
    /*#define CPUTYPE M32C83*/
    #define CPUTYPE M32C85
```

```
└─ UserContWaier
    WaiperCommonIF.h ファイル

    #define M32C85      85
    #define M32C83      83
    /*#define CPUTYPE M32C83*/
    #define CPUTYPE M32C85
```

問い合わせ先

sales@alivetchno.co.jp